

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.4

1963(昭和38)年4月から上水道を引く工事を開始し、翌年11月から市内の一部で給水が始まりました。水道が引かれる前は、炊事や洗濯、お風呂に水を入れるのも井戸からくんで生活していました。その後整備が進み、1975(昭和50)年ごろまでに、ほぼ全ての家庭で上水道を利用できるようになりました。

現在は水の使用量が増えたため、埼玉県から水を買入れ、皆さんの家や工場などに送られています。

水道のおかげで消毒した安全な水が使えるようになったんだよ！



令和2年度の水源の比率は、
埼玉県水が約85%
東松山市水が約15%だよ

給水が開始

1964(昭和39)年



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所所長・教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやま
キッズ集合!

おしえて『文化財』

さんかくふちんし さくしん に じゅうきょう
三角縁陳氏作四神二獣鏡

平成23(2011)年10月、高坂で三角縁神獸鏡が見つかりました。埼玉県内で初めての発見でした。

この鏡が使われた古墳時代は、有力者のために「古墳」という大きなお墓を作っていた時代です。当時最も力を持ち、畿内(今の大阪府・京都府・奈良県・兵庫県)で巨大な古墳をつくっていたヤマト王権が、各地の有力者と協力するために渡したものが三角縁神獸鏡です。その鏡が見つかったということは、1700年近く前、埼玉県内で唯一、ヤマト王権に認められるほど大きな力を持った人が、東松山市の高坂周辺にいたことを示しています。

今は違って古墳時代の鏡は、自分の力を示す証としてとても大切に扱われ、自分が亡くなったあとは古墳と一緒に埋葬させたと考えられます。

直径22cmの青銅製です。写真は鏡の裏面で、反対側が鏡面と呼ばれる鏡の表です。裏面に表現された文字や像などで鏡は分類されていて、東松山市のものは「三角縁陳氏作四神二獣鏡」と分類されています。



三角縁陳氏作四神二獣鏡



裏面



表面(鏡面)

復元鏡

発見された鏡に含まれる銅と錫と鉛の割合を分析し、その割合で忠実に作ったものが復元鏡です。つまり作られた当時はこの輝きを放っていたということです。

※鏡は現在、埋蔵文化財センターで展示中です。

問
埋蔵文化財センター
TEL 27-103333 FAX 27-10334